

平成9年三重県消費者物価の動向

1 概要

県……平成9年三重県消費者物価指数は、平成7年を100とした総合指数で101.7となり、前年に比べ1.6%上昇しました。

平成元年以降の総合指数の対前年の上昇率をみると、平成元年は4月からの消費税の導入もあって2.4%の上昇となった後、2年が2.8%、3年が3.0%と上昇幅が拡大しました。しかし、4年からは2%を下回り、4年が1.3%、5年が1.0%、6年が1.7%、7年が1.6%、8年が0.1%の上昇で推移した後、消費税及び医療費が引き上げられた9年は1.6%の上昇となり前年の上昇幅を大きく上回りました。

なお、持家の帰属家賃を除く総合指数は101.3となり、前年に比べ1.4%上昇しました。

国……平成9年全国消費者物価指数は、平成7年を100とした総合指数で101.9となり前年に比べ1.8%上昇し、平成8年の0.1%の上昇率と比べ上昇幅が拡大しました。

(図1、表1)

図1 消費者物価総合指数及び対前年上昇率

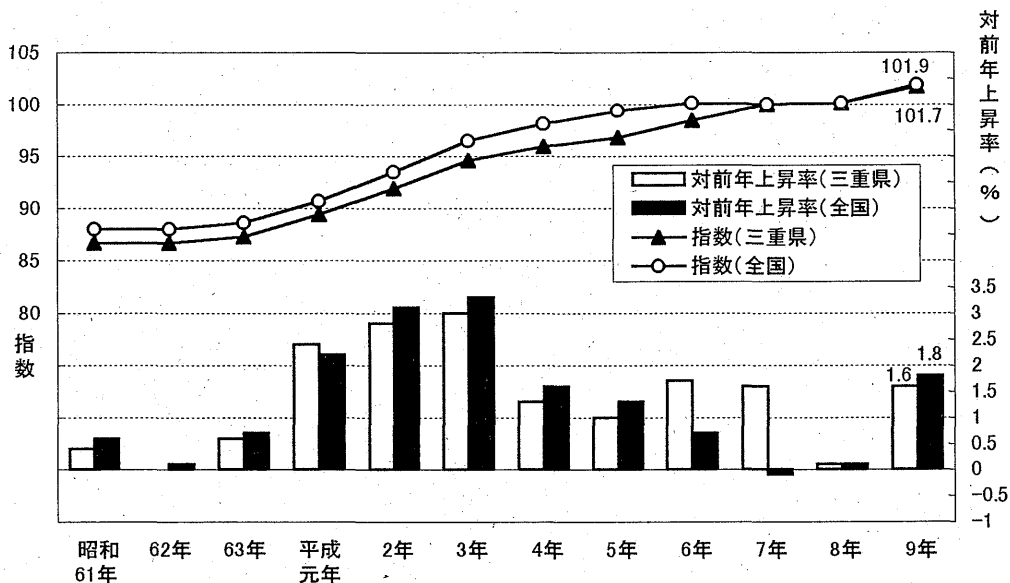


表1 総合指数と対前年上昇率の推移

平成7年 = 100

	県				全国					県				全国			
	総合	対前年 上昇率 (%)	総合 (※)	対前年 上昇率 (%)	総合	対前年 上昇率 (%)	総合 (※)	対前年 上昇率 (%)		総合	対前年 上昇率 (%)	総合 (※)	対前年 上昇率 (%)	総合	対前年 上昇率 (%)	総合 (※)	対前年 上昇率 (%)
昭和59年	—	—	86.9	2.3	85.7	2.3	86.7	2.2	平成3年	94.6	3.0	96.6	3.0	96.5	3.3	97.1	3.3
昭和60年	86.4	—	88.5	1.8	87.4	2.0	88.5	2.1	平成4年	95.9	1.3	97.7	1.2	98.1	1.6	98.7	1.6
昭和61年	86.7	0.4	88.8	0.3	88.0	0.6	88.9	0.4	平成5年	96.8	1.0	98.7	1.0	99.4	1.3	99.8	1.1
昭和62年	86.7	0.0	88.5	-0.3	88.0	0.1	88.7	-0.2	平成6年	98.4	1.7	99.6	1.0	100.1	0.7	100.3	0.5
昭和63年	87.3	0.6	88.9	0.6	88.6	0.7	89.1	0.5	平成7年	100.0	1.6	100.0	0.4	100.0	-0.1	100.0	-0.3
平成元年	89.4	2.4	91.1	2.3	90.7	2.3	91.2	2.3	平成8年	100.1	0.1	99.9	-0.1	100.1	0.1	100.0	0.0
平成2年	91.9	2.8	93.8	3.0	93.5	3.1	94.0	3.1	平成9年	101.7	1.6	101.3	1.4	101.9	1.8	101.6	1.6

※ 持家の帰属家賃を除く総合

2 年間の動き

平成9年の三重県消費者物価指数の動きを総合指数について月別に対前年同月上昇率で見ました。

1月は果物の生鮮果物及び他の光熱等が前年の価格水準を大きく上回ったことにより1月は0.6%上昇、2月も同様の理由により0.6%上昇し、3月は魚介類の生鮮魚介が値上がりしたことから0.9%上昇しました。

4月は消費税率が引き上げられたために1.4%と1月以降初めて対前年同月上昇率が1%を上回り、5月以降も1%を超える上昇率で推移しました。

5月は衣料の値上がりにより1.2%上昇、6月は野菜・海藻の生鮮野菜が値上がりしたため1.9%上昇し、7月も家賃の値上がりにより1.9%上昇と上昇幅の拡大が続き、8月は魚介類の生鮮魚介及び野菜・海藻の生鮮野菜などの値上がりにより2.0%と2%台の上昇率となりました。

9月は、医療費の本人一部負担金が引き上げられたため、2.4%に上昇率が拡大しました。

10月は野菜・海藻の生鮮野菜の値上がりにより2.5%上昇、11月も同様の理由により2.3%上昇しました。12月は生鮮果物の下落などにより1.6%と5ヶ月ぶりに1%台の上昇率にとどまりました。

(図2、表2)

図2 月別の動向

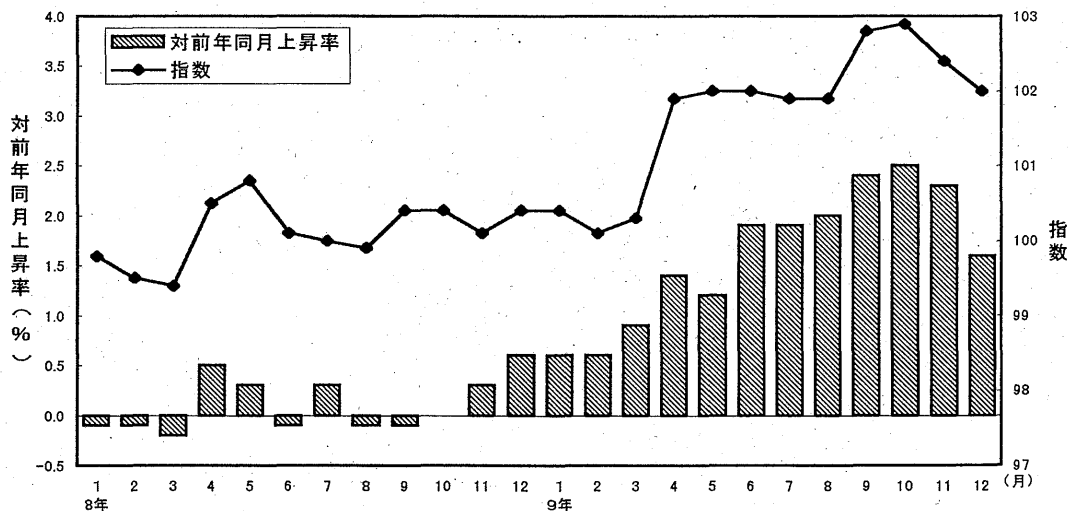


表2 対前年同月上昇率

月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総合	県	0.6	0.6	0.9	1.4	1.2	1.9	1.9	2.0	2.4	2.5	2.3	1.6
	全国	0.6	0.6	0.5	1.9	1.9	2.2	1.9	2.1	2.4	2.5	2.1	1.8
持家の 帰属家賃を 除く総合	県	-0.1	0.0	0.2	1.3	1.1	2.0	1.7	1.9	2.3	2.6	2.3	1.6
	全国	0.4	0.3	0.2	1.9	1.9	2.3	1.9	2.1	2.5	2.6	2.2	1.8

単位：%

3 費目別の動き

平成9年の費目別に対前年上昇率をみると、家具・家事用品、交通・通信の2費目がともに0.7%下落した以外は1%以上の上昇となっており、特に保健医療は5.3%、光熱・水道は4.8%と大幅な上昇となりました。

(1) 食料

食料の費目別指数は101.2となり、前年に比べ1.3%上昇しました。

内訳をみると、上昇した主なものは、魚介類が「あさりつくだ煮」、「魚みそ煮」などの値上がりにより3.0%、菓子類が「まんじゅう」、「カステラ」などの値上がりにより2.4%、野菜が「れんこん」、「ねぎ」、「ブロッコリー」などの値上がりにより2.4%、外食が「のり巻き」、「コーヒー」などの値上がりにより1.7%、調理食品が「調理カレー」などの値上がりにより1.5%上昇しました。

また、下落した主なものは、果物が「かき」、「みかん」、「なし」などの値下がりにより1.5%、油脂・調味料が「マーガリン」、「酢」などの値下がりにより0.5%、乳卵類が「ヨーグルト」、「牛乳（店頭売り）」などの値下がりにより0.3%、穀類が「うるち米」などの値下がりにより0.2%下落しました。

(2) 住居

住居の費目別指数は103.8となり、前年に比べ2.5%上昇しました。

内訳をみると、家賃が「民営家賃」の値上がりにより2.5%、設備修繕・維持が「浴槽」、「左官手間代」、「塀工事費」などの値上がりにより1.9%上昇しました。

(3) 光熱・水道

光熱・水道の費目別指数は106.1となり、前年に比べ4.8%上昇しました。

内訳をみると、上下水道が「水道料」、「下水道料」の値上がりにより8.7%、電気・ガス代が「電気代」、「ガス代」の値上がりにより4.0%上昇しました。

(4) 家具・家事用品

家具・家事用品の費目別指数は97.0となり、前年に比べ0.7%下落しました。

内訳をみると、家庭用耐久財が「電子レンジ」、「電気カーペット」などの電化製品を中心に値下がりし、0.5%下落しました。

(5) 被服及び履物

被服及び履物の費目別指数は103.3となり、前年に比べ1.4%上昇しました。

内訳をみると、履物類が「男子革靴」、「婦人革靴」などの値上がりにより4.1%、生地・他の被服類が「子供タイツ」、「ネクタイ」などの値上がりにより1.8%、衣料が「婦人ワンピース（合物）」、「スリーシーズンコート」などの値上がりにより1.5%、シャツ・セーター・下着類が「ワイシャツ（半袖）」、「男子パジャマ」などの値上がりにより0.1%上昇しました。

(6) 保健医療

保健医療の費目別指数は105.6となり、前年に比べ5.3%上昇しました。

内訳をみると、保健医療用品・器具が「生理用紙綿」、「ヘルスメーター」などの値下がりにより0.2%下落したものの、医薬品が「混合ビタミン剤」、「口中剤」などの値上がりにより1.3%、保健医療サービスが保険の自己負担率の上昇により「診察料」、「入院費」などが値上がりしたため9.9%上昇しました。

(7) 交通・通信

交通・通信の費目別指数は97.4となり、前年に比べ0.7%下落しました。

内訳をみると、交通が「鉄道運賃」、「高速自動車道路料金」の値上がりにより1.2%上昇したものの、自動車等関係費が「ガソリン」、「自動車タイヤ」、「自動車ワックス」などの値下がりより1.5%、通信が「通話料」の値下がりにより1.2%下落しました。

(8) 教育

教育の費目別指数は104.2となり、前年に比べ1.4%上昇しました。

内訳をみると、授業料等が「PTA会費」、「授業料」などの値上がりにより1.7%、教科書・学習参考書が「学習参考書」の値上がりにより2.2%、補習教育が「学習塾」の値上がりにより0.5%上昇しました。

(9) 教養娯楽

教養娯楽の費目別指数は100.1となり、前年に比べ1.3%上昇しました。

内訳をみると、教養娯楽用耐久財が「ビデオテープレコーダー」、「テレビ」などの値下がりにより4.9%下落したものの、他の教養娯楽が「ゴルフクラブ」などの運動用具、「アルバム」などの文房具の値上がりにより1.9%上昇しました。

(10) 諸雑費

諸雑費の費目別指数は102.0となり、前年に比べ1.6%上昇しました。

内訳をみると、身の回り用品が「通学用かばん」、「腕時計（輸入品）」などの値下がりにより0.1%下落したものの、理美容サービスが「ヘアカット代」、「パーマ代」などの値上がりにより3.4%、理美容用品が「化粧品けん」、「整髪料」などの値上がりにより、0.8%上昇しました。 (図3、表3)

4 寄与度・寄与率

平成9年三重県消費者物価指数は総合で見ると前年と比べて1.6%上昇しましたが、これに影響を及ぼしたものを中分類別に主なものをみました。

上昇に寄与したものをみると、教養・娯楽のうちの他の教養娯楽は物価全体を0.192%上昇させる方向に働き、寄与率として100分比にすると12.0%になりました。他の費目で上昇に寄与した主なものを寄与率で見ると、光熱・水道のうちの電気・ガス代11.7%、保健・医療のうちの保健医療サービス9.9%、食料のうちの外食7.3%、魚介類5.8%となりました。

下落に寄与したものをみると交通・通信のうちの自動車等関係費が物価全体を0.101%下落させる方向に働き、寄与率で見ると6.3%となりました。 (図4、表3)

図3 費目別対前年上昇率(%)

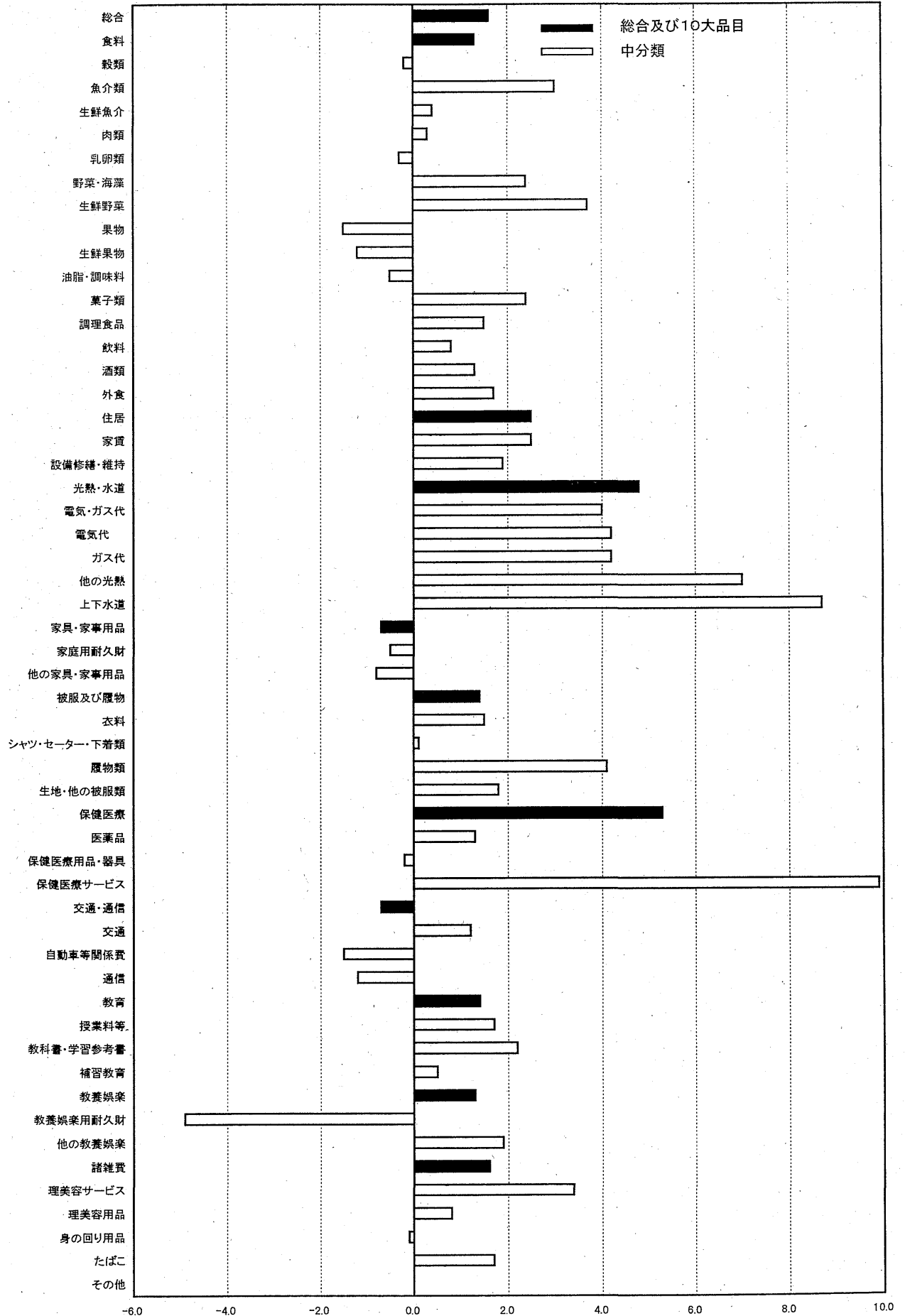


図4 消費者物価指数の寄与率(%)

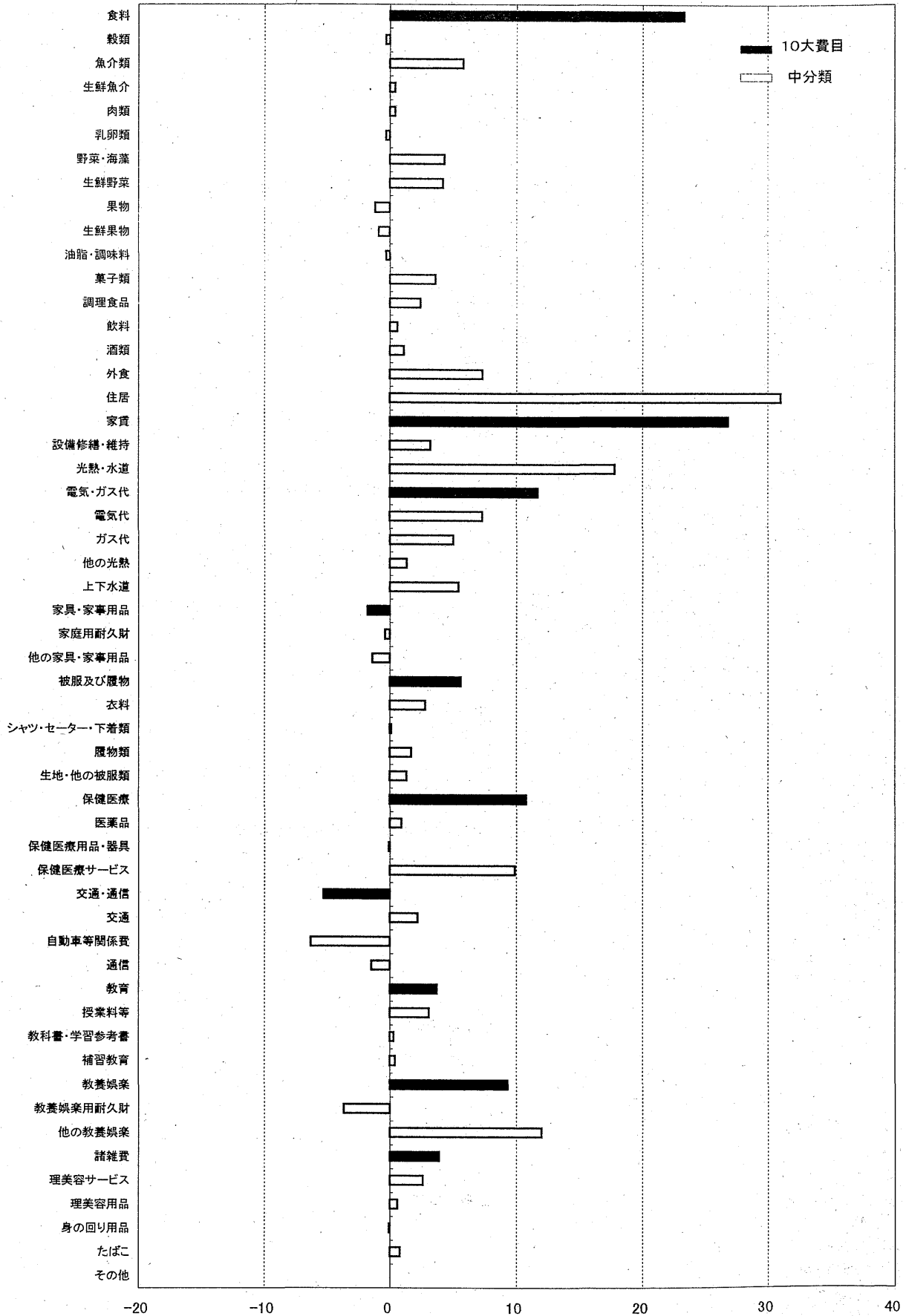


表3 5市平均中分類指数・寄与度・寄与率

平成7年=100

	指 数		対前年上昇率 (%)		寄 与 度 (%)	寄 与 率 (%)
	平成8年平均	平成9年平均	平成8年平均	平成9年平均		
総 合	100.1	101.7	0.1	1.6	1.598	100.0
持家の帰属家賃を除く総合	99.9	101.3	-0.1	1.4	1.194	74.7
食 料	99.9	101.2	-0.1	1.3	0.373	23.3
穀 類	99.0	98.8	-1.0	-0.2	-0.005	-0.3
魚 介 類	103.9	107.0	3.9	3.0	0.092	5.8
生 鮮 魚 介	106.6	107.0	6.6	0.4	0.007	0.4
肉 類	98.8	99.1	-1.2	0.3	0.007	0.4
乳 卵 類	98.4	98.1	-1.6	-0.3	-0.004	-0.3
野 菜 ・ 海 藻	96.7	99.0	-3.3	2.4	0.069	4.3
生 鮮 野 菜	94.2	97.7	-5.8	3.7	0.067	4.2
果 物	101.2	99.7	1.2	-1.5	-0.019	-1.2
生 鮮 果 物	101.6	100.4	1.6	-1.2	-0.014	-0.9
油 脂 ・ 調 味 料	98.0	97.5	-2.0	-0.5	-0.005	-0.3
菓 子 類	102.5	105.0	2.5	2.4	0.058	3.6
調 理 食 品	98.8	100.3	-1.2	1.5	0.039	2.4
飲 料	100.1	100.9	0.1	0.8	0.010	0.6
酒 類	99.8	101.1	-0.2	1.3	0.018	1.1
外 食	99.8	101.5	-0.2	1.7	0.116	7.3
住 居	101.3	103.8	1.3	2.5	0.495	31.0
持家の帰属家賃を除く住居	100.8	102.8	0.8	2.0	0.104	6.5
家 賃	101.3	103.8	1.3	2.5	0.428	26.8
持家の帰属家賃を除く家賃	100.4	102.5	0.4	2.1	0.053	3.3
設 備 修 繕 ・ 維 持	101.3	103.2	1.3	1.9	0.051	3.2
光 熱 ・ 水 道	101.2	106.1	1.2	4.8	0.285	17.8
電 気 ・ ガ ス 代	100.4	104.5	0.4	4.1	0.187	11.7
電 気 代	99.0	103.2	-1.0	4.2	0.116	7.3
ガ ス 代	102.3	106.7	2.3	4.3	0.080	5.0
他 の 光 熱	100.2	107.2	0.2	7.0	0.021	1.3
上 下 水 道	105.7	114.9	5.7	8.7	0.086	5.4
家 具 ・ 家 事 用 品	97.7	97.0	-2.3	-0.7	-0.029	-1.8
家 庭 用 耐 久 財	96.0	95.5	-4.0	-0.5	-0.007	-0.4
他 の 家 具 ・ 家 事 用 品	98.6	97.8	-1.4	-0.8	-0.022	-1.4
被 服 及 び 履 物	101.9	103.3	1.9	1.4	0.090	5.6
衣 料	102.0	103.5	2.0	1.5	0.044	2.8
シャツ・セーター・下着類	102.8	102.9	2.8	0.1	0.002	0.1
履 物 類	100.4	104.5	0.4	4.1	0.027	1.7
生 地 ・ 他 の 被 服 類	100.8	102.6	0.8	1.8	0.020	1.3
保 健 医 療	100.3	105.6	0.3	5.3	0.173	10.8
医 薬 品	101.0	102.3	1.0	1.3	0.014	0.9
保 健 医 療 用 品 ・ 器 具	96.9	96.7	-3.1	-0.2	-0.001	-0.1
保 健 医 療 サ ー ビ ス	101.2	111.2	1.2	9.9	0.158	9.9
交 通 ・ 通 信	98.1	97.4	-1.9	-0.7	-0.085	-5.3
交 通	102.9	104.1	2.9	1.2	0.035	2.2
自 動 車 等 関 係 費	95.6	94.2	-4.4	-1.5	-0.101	-6.3
通 信	99.2	98.0	-0.8	-1.2	-0.024	-1.5
教 育	102.8	104.2	2.8	1.4	0.059	3.7
授 業 料 等	102.3	104.0	2.3	1.7	0.050	3.1
教 科 書 ・ 学 習 参 考 書	100.6	102.8	0.6	2.2	0.004	0.3
補 習 教 育	104.6	105.1	4.6	0.5	0.006	0.4
教 養 娛 楽	98.8	100.1	-1.2	1.3	0.148	9.3
教 養 娛 楽 用 耐 久 財	93.1	88.5	-6.9	-4.9	-0.059	-3.7
他 の 教 養 娛 楽	99.5	101.4	-0.5	1.9	0.192	12.0
諸 雑 費	100.4	102.0	0.4	1.6	0.062	3.9
理 美 容 サ ー ビ ス	101.0	104.4	1.0	3.4	0.041	2.6
理 美 容 用 品	98.6	99.4	-1.4	0.8	0.009	0.6
身 の 回 り 用 品	102.0	101.9	2.0	-0.1	-0.001	-0.1
た ば こ	100.0	101.7	0.0	1.7	0.012	0.8
そ の 他	106.3	106.3	6.3	0.0	0.000	0.0

5 各市の動き

県内5市の消費者物価指数の動きを対前年上昇率で見ると、津市の2.1%を最高に、鈴鹿市と尾鷲市が1.6%、伊勢市と上野市1.2%となりました。(図5)

